



阪神機器株式会社様に対する 『114 サステナブルベーシックローン』の実施について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は2026年7月24日（金）、明石支店取引先 阪神機器株式会社（神戸市西区 代表取締役社長 山田 隆一）に対し『114 サステナブルベーシックローン^{（※1）}』を実施しましたのでお知らせします。

今回、阪神機器株式会社は、『売上高当たりの電力使用量の削減』を SPTs^{（※2）} に決めました。当行はお客さまの企業戦略に即した SPTs の達成状況に応じて貸出金利を優遇することで、目標達成に向けた動機付けを行い、サステナブル経営を後押しします。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまの SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

（※1）環境・社会課題の解決に資する取組みを、自社の実績を基準に目標値を設定し、達成状況に応じて貸出金利を優遇する当行独自のローン商品。第三者評価機関からのセカンドオピニオン取得が必要となる、サステナビリティ・リンク・ローンに比べ、多くの企業が取り組みやすい設定としている。

（※2）Sustainability Performance Targets（環境や社会課題に対しポジティブな影響をもたらす企業目標）

記

1. 企業の概要

会 社 名 阪神機器株式会社
所 在 地 神戸市西区伊川谷町潤和字一ノ坪 745 番地
業 種 金属製品製造業他

【サステナブルな取組み】

当社は 1926 年の創業以来、「人と地球にやさしいモノづくりで社会に貢献する」をスローガンに、電気機器・建設用構造部品・機械加工部品の設計から製造・品質保証までの一貫したモノづくりを手がけています。100 年の歴史が紡いできた技術と志をさらに発展させ、地域社会への貢献とグローバルな創造活動を力強く推進してまいります。

今回、『売上高当たりの電力使用量の削減』を SPTs に設定することで、環境負荷の低減をめざします。



2. SPTs について

売上高当たりの電力使用量の削減

以上